



医療法人伊豆七海会

熱海所記念病院

熱海 海の見える病院

地域医療に貢献したい
セカンドキャリアの
先生歓迎

東京駅から45分

熱海駅から送迎バスあり

新幹線通勤費用
補助可能

愛し愛される病院



「熱海 海の見える病院」

2016年4月オープン



■ 当院での働き方ポイント

当直は原則ございません

転居費用補助・住宅手当有

各科、ポジション相談可

学閥なし

院内保育・病児保育あり

(単身赴任者のみ)
月1回帰省費用補助あり

遠方でのご面談も相談可

(熱海所記念病院)
年収のご相談可※2000万円程度

(熱海所記念病院)
医師秘書課が事務作業補助

【積極募集中の診療科目】

■ 熱海所記念病院

内科（一般、消化器、循環器、呼吸器、
内分泌、血液、神経）、
外科（一般、消化器、呼吸器、乳腺）、
麻酔科、眼科、婦人科、泌尿器科、救急科
総合診療科

■ 熱海海の見える病院

内科、透析、脳神経外科、整形外科



医療法人伊豆七海会

熱海海の見える病院



～海のように心安らぐ病院を目指して～

私たちの病院は、急性期及び回復期の医療機関での治療を終えられた患者さまを対象として、相模湾を一望できる良好な環境のもと、安心して療養に専念していただくことを目的として設立されました。

また、在宅復帰に向けたリハビリテーションはもとより、透析療法や抗癌剤治療などにも対応できる体制を構築することで、何よりも住み慣れた地域でより良い医療を受けられるよう、「熱海所記念病院」と共に「医療法人社団伊豆七海会」として、地域完結型の医療提供体制の充実に貢献することを目指しております。

地域の皆さま、そして当院に訪れたすべての患者さまに必要とされる病院であるよう、“愛し愛される病院”“海のように心やすらぐ病院”の旗印のもと、職員一同が切磋琢磨し、かつ助け合いながら日々努力してまいります。

連携施設の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、そしてご指導のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

■ 病院長インタビュー（熱海海の見える病院）

■ 命の最期まで、できることを探求し続ける

私は大学卒業後、心臓血管外科のキャリアをスタートしましたが、現在は内科医（循環器内科）として働いています。若いうちは、修練を行った病院で数多くの手術に携わっており、その頃に指導医であられた横川先生（現副会長）からお誘いをいただきTMGに入職いたしました。その後2004年に熱海に赴任して以来、ずっと地域の人々の健康を見守ってきました。

昨年までは熱海記念所病院で副院長を務めており、今年より新設された当院にて院長職として就任いたしました。療養病棟は、急性期後、回復期後の患者さんが自分らしく穏やかに過ごしてもらおう場所です。病氣と戦ってきて、でもこれ以上は治療ができないという状況で入院される患者さんも多く、命の限りが見えていることも。

人の最期を看取ることが多い病棟ですから、辛い場面は少なくありません。それでも、患者さんの痛みや不安を減らすケアを行っていくことで、患者さんのご家族から感謝の言葉を頂くと少しでも患者さんのためになったのかなと思います。療養病棟における内科は、結果を求める急性期と異なり、最期の瞬間までできることを模索する医療です。患者さんに寄り添いながら「何ができるだろうか？」と、日々突き詰めて考えています。

この病院はまだ誕生したばかりです。高齢者率が42%と全国平均の25%に比べて1.5倍近くの熱海において今後は入院透析、緩和ケアにもより力を入れ、患者さんのQOLを保っていきたいと考えています。時代や社会のニーズに合った変革をすることで、地域の人々にとって本当に求められる病院になるよう、これからも全力を尽くしていきたいと思っています。

「一緒に作り上げていきたい！」そんな気概のある先生のご応募ぜひお待ちしております。



院長 鈴木 和浩



病院長 鈴木 和浩

- 卒業大学：平成元年 昭和大学医学部卒
- 専門分野：内科・循環器内科
- 資格：日本胸部外科学会認定医



副院長 吉澤 太人

- 卒業大学：平成元年 昭和大学医学部卒
- 専門分野：消化器外科
- 資格：日本外科学会専門医



透析センター長 吉田 成孝

- 卒業大学：平成12年 東京大学医学部卒
- 専門分野：腎臓内科
- 資格：日本透析学会専門医 日本内科学会認定医

当院の特徴

① ゼロからの病院づくり。

増床ではなくゼロからの病院づくりが、当院の一番の特徴です。
「患者様のためにもっとこうしたい」
「もっとこうしたら働きやすい」という、さまざまな思いを
ぜひ、当院で実現していただければと思います。

② 熱海・伊東の医療を担う、「療養」に特化した病院。

障害者病床40床、療養病床72床の全112床からなる
「熱海 海に見える病院」。急性期医療を担う同グループの
「熱海所記念病院」と連携しながら、急性期を脱した
患者さんに対して看護を提供することで地域の医療を支えます。

<業務内容>

- 外来：なし
 - 病棟管理：15～20人程度
- ※透析、リハなど先生のご要望に沿って
お仕事をお任せしたいと考えています



■ 病院長インタビュー（熱海海の見える病院）

■ 互いを尊重し合い、気軽に相談できる環境

私は現在、透析専門医として20名弱の患者さんを担当しています。
大学卒業後は医局からの派遣で急性期病院を転々とし、その後大学院で研究を行っていました。
寄付講座、臨床等を行い7年くらい過ごし、長野の療養型病院にご縁があり転職。
2年後、新居を建てるタイミングで熱海に引っ越してきました。

当院に決めた理由は「海・山・温泉・東京都内まで1時間以内」です笑
熱海の土地に魅力を感じ、先に家を購入してから職場を探したので普通の人とは順序が逆だと思います。
ただ当院に入職したことは、心からよい判断だったと思います。

個人的な経験で言えば、大学・急性期病院時代には医師の役割が縦割りに分かれていたため、
1人の患者さんと長くお付き合いすることはできませんでした。
一方で患者さんと接する十分な時間が持てる最近は「自分の力を世の中の役に立てたい」という
広い視野を持てるようになりました。
最初に勤務した病院で世の中の構図として高齢者医療の必要性は感じていました。
その時、高齢の患者さんと接した経験が、今の仕事に活かされています。
急性期とは異なる大きな社会的役割を担う選択肢もあると思います。

さらに当院は敷地が広くゆったりして施設も大きく、リハビリ施設もしっかりしており
患者さんにとってはもちろん、医師としても穏やかな心構えで診察に臨める環境です。
当院の医局は診療科目による分け隔てなく医師全員が一緒の場所で過ごしています。
皆が互いのことを良く知っている関係なのですが、上下関係の厳しさがあるのではなく、
プライベートを尊重し合っているところも、医師にとっては快適です。

「それぞれメンバーの個性を伸ばしていく、そして結果チームでハッピーになる」
というのが院長のポリシー。
私もさまざまな病院で働いていましたがこれほど働きやすい環境はないと思います。
院内の仕組みも人も、最高の環境が与えられていることに感謝をしています。



透析センター長

■フロア案内

相模湾を一望できる良好な環境のもとで、入院療養を行うことができる病院です



■透析室について

■ベッド数：15床

■設備：更衣室・個人ロッカー・待合室・全ベッド液晶テレビ

■治療内容：血液透析、血液透析濾過（オフライン・オンラインHDF）、無酢酸透析

2016年4月にオープンをし、透析室のベッド数15床を完備しております。ベッドとベッドの間は広くし、更衣室・ロッカー・待合室・全ベッドに液晶テレビも完備しており、患者さまの負担を少しでも軽減できるように考えております。

通院維持透析は元より、入院維持透析にも力を入れております。

また、旅行透析も実施しております。

透析治療と熱海観光がおこなえるので、好評です。



■ 施設雰囲気について

【病棟】



【病棟】



【病室】



【スタッフステーション】



■ 施設雰囲気について

【パウダールーム】



【病棟】



【職員食堂】





医療法人伊豆七海会

熱海所記念病院



■ 病院長挨拶（熱海所記念病院）

熱海所記念病院は、開設以来、地域の急性期医療を担って参りましたが、めまぐるしく変わった医療保険制度の中で、活動が制約され、使いにくい、古い病院になっていました。

病院の改築計画が持ち上がったのは、10年も前でしたが、やっと新病院が2009年10月に完成し 1年半ほど経ちました。

新病院は、“発病から家庭復帰まで”を安心してゆだねられる病院を目指し、急性期一般病棟に加え、亜急性期病床、回復期リハビリテーション病棟を設けました。

東海地震の想定される土地柄ですので、十分な耐震機能も確保しました。

患者さんにとって、安全で居心地のよい、職員にとっては、仕事をしやすい環境をめざし、各フロアーに個室、二床室を配し、旧病院で評判の悪かった8床室をなくして、4床室としました。ラウンジも設け、療養中の多様なニーズに応えられるようになりました。

入院生活でもプライバシーがかなり守られるようになったと思います。

当院の要である救急医療を重視し、同一フロアーに 救急外来、放射線科、手術室をまとめて配置し、最新の診断機器もそろえました。また、最新鋭の定位放射線治療装置、ガンマナイフ パーフェクションを導入し、地域を越えて発信しうる力を持ちました。

ガンマナイフは、転移性脳腫瘍をはじめとした、脳神経外科領域の治療困難な病変、脳腫瘍、脳動静脈奇形や機能的疾患に、メスを加えることなく、安全確実に治療できる画期的な治療装置であり、多くの患者さんの要請に応えられると自負しております。

病院新築を機に、オーダリングシステム（検体検査、生理検査、放射線、処方、投薬などの指示情報を情報端末（コンピュータ）から入力して各部門に瞬時に伝達するシステム）と画像診断支援システム（レントゲンフィルムをなくし、デジタル化した画像をモニター上で瞬時に伝達し、診断する）も導入し、院内業務の効率化を目指しました。診療はよりスムーズとなり待ち時間もさらに短く出来るよう努力しております。

坂ばかりで、かよいにくい街ですから、100台収容の広い駐車場の完成は、高齢者がとても多い熱海の患者さんには朗報でしょう。“いつでもかかれる心やすらぐ病院、地域とともに歩む開かれた病院、働きがいのある明るい病院”という理念のもとに、患者さんを大切にする医療を今後も展開していきます。

■ 病院長インタビュー（熱海所記念病院）

■ 医師としての本質に集中できる環境です

地域に根ざし、地域社会における疾病の予防、地域の人々の健康増進に尽力している当院ですが、私が就任した当時、熱海は救急の受け入れ体制はほとんどできていない状態でした。

脳神経外科においてはほぼイチから立ち上げる状態。
設備は古いものも多く、医師やスタッフの確保、医師会や近隣クリニックといった外部との連携など…と、奔走しました。

その中で救急体制・災害対策をどうにか整えながら、熱海の救急体制強化に邁進した結果、一昨年に大学病院ではなく民間病院である当院が厚生労働大臣賞をいただくことができました。その後平成21年の新棟において、ガンマナイフも導入をして高度な医療機器を進めることも実現しました。

現在の私の主な業務は、週に3回の外来患者様の診察と、脳神経外科の救急患者様の対応です。特に急性期診療に関しては引き続き体制強化に向けて、現場教育と地域医療機関との連携強化、育成環境の整備など、これまでの経験やネットワークを活かしながら、より地域の皆様に安心していただける病院づくりに力を注ぎたいと思います。

熱海は高齢者率が全国平均の1.5倍、静岡でも有病率がトップで悪い状況です。一方で都心部と違って病院が急性期病院が少なくわずか3病院しかありません。そういった環境であるため、医療の本質を極めることができスキルアップにつながります、年齢を重ねても奢ることなく、日々勉強されている医師が多いですね。当院は退職率が非常に低く、ここ10年で1名だけです。非常勤や派遣として働いていた医師が戻ってくるなど非常に働きやすい環境といえるのではないのでしょうか。

今後も引き続き地域の開業医の方とのネットワークづくりや、救急隊との連携構築などを通しつつ、『当院では今後こうした体制、設備を整え、こんな医療が可能になります』ということをアピールし、当院の存在感を示していくことにも取り組んでいきたいと考えています



院長 杉浦 誠

<当科の特徴>

当科は、内科全般の患者さまを対象としておりますので、非常に広範囲にわたり診療しています。糖尿病・高脂血症・痛風等の代謝性疾患、甲状腺、下垂体、副腎等の内分泌疾患、パーキンソン症候群、脳・髄膜炎等の神経疾患、上部・下部消化管、肝胆膵等の消化器疾患について、その領域を専門とする医師が診断と治療を行っています。



内科医員 橋本善弘

- 卒業大学：H1年 東邦大学卒
- 専門分野：消化器



内科医員 森 浩章

- 卒業大学：H22年 東京医科大学卒
- 専門分野：膠原病

<業務内容>

- 外来：週2～3コマ程度
- 病棟管理：25～30人程度

内視鏡

- 上部内視鏡種類
経口 経鼻
- 内視鏡メーカー
オリンパス
- 実績
【上部】5件～10件/日
【下部】1件～3件/日



非常勤医師体制

15名 (糖尿病内科・消化器内科等)



■ 循環器科

<当科の特徴>

心疾患：心不全（ポンプ失調）、虚血性心疾患、不整脈、難治性高血圧

血管疾患：大動脈瘤、末梢動脈閉塞、静脈血栓症、下肢静脈瘤

検査：心エコー、24時間心電図、負荷心電図、血管CT、血管MRI、API等

保存的治療を中心にしますが、より高度な治療（手術、カテーテル等）が必要な場合に対しても適切にアドバイス致します。



副院長 豊田徹

■ 卒業大学：S59年 東京医科大学卒

■ 専門分野：循環器内科

■ 資格

日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医・認定医

<業務内容>

■ 外来：週2～3コマ程度

■ 病棟管理：25～30人程度



■ 泌尿器科、麻酔科、皮膚科、小児科

常勤医師不在

<当科の特徴>

検査から手術まで一貫した治療をおこなっています。

消化器手術、呼吸器手術、乳腺、甲状腺手術に対応しています。

内視鏡手術：食道、胃、大腸の粘膜剥離術 胆管結石除。胆管、膵癌のステント治療、胃内バルーン挿入法。

腹腔鏡手術：胃、大腸ではより安全なHALS（手と腹腔鏡によるハイブリッド手術）で行っています。

胸腔鏡手術：気胸、肺がん 抗がん剤治療：各種がん、悪性リンパ腫の外来化学療法

血管内治療：血管造影による動脈塞栓術 食事療法：ゲルソン療法を中心とした指導

外科部長 安倍知見

■卒業大学：H1年 聖マリアンナ医科大学卒

■専門分野：一般外科および消化器外科（胃・腸・肝・胆・膵）、
乳腺、甲状腺、胸部

■資格

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医

外科医員 梶原克典（大学派遣）

■卒業大学：H17年 東京医科大学卒

■専門分野：一般外科

■資格

日本外科学会専門医

手術件数

約100件/年

【開腹手術】あり(20件程度/年)

【腹腔鏡手術】あり(20件程度/年)

【手術症例内訳】

消化器手術、呼吸器手術、乳腺、甲状腺手術に対応しています。

内視鏡手術：食道、胃、大腸の粘膜剥離術、胆管結石除、胆管、膵癌のステント治療、胃内バルーン挿入法。

腹腔鏡手術：胃、大腸ではより安全なHALS（手と腹腔鏡によるハイブリッド手術）で行っています。

胸腔鏡手術：気胸、肺がん

救急車（月間）：131件

時間外外来（月間）：285件

外来数（1日平均）：283件

■ 医師としての本質に集中できる環境です

私は大学卒業後、県立・公立病院などの急性期病院で消化器外科として働いてきました。

当院に入職したきっかけは

「病院名ではなく自分を指名してくれる患者さんをふやしたい、そして私が考え抜いた治療法を実施したい」というものでした。自分の名前勝負していくには大病院ではなく当院ぐらいの規模感がちょうどいいと感じました。

今は消化器外科の専門以外に食事療法による診療にも力を入れています、

こういったことも大学病院では認めてもらえない事もあるので、当院ならですね。高齢化率が非常に高い熱海。日本の終止符がここにあると私は考えていますので、熱海で自分の理論が正しいかどうかを確かめたい、そして患者さんの役に立ちたい、とう想いで日々取り組んでいます。

当院は自分自身どんな将来を歩みたいかを明確にして発信していたら、それに応えてくれる人が沢山います。また、病院も研修や学会に参加するチャンスを与えてくれるし、いろいろな補助も得られます。ですから、自分で自身のキャリアを形成していくことが実感できる病院だと思います。また当院の特長として、医師同士が垣根なくアドバイスしあえる環境があります。これは、それぞれ高い専門スキルを持った医師が集まっている当院だからこそ。

医療の細分化、専門家が進んでいる時代だからこそ、横同士の「風通しの良さ」は働くうえでの大きなメリットだと感じています。

診療科間の垣根が低く、自由に意見を発信できる風土がある、これが、熱海所記念病院の特徴の一つであると思います。



外科部長 安倍知見

■ 脳神経外科

<当科の特徴>

頭痛、めまい、麻痺、痙攣、意識障害などを起こす脳の病気を治療します。

名誉院長 高倉公朋

■ 卒業大学：S33年 東京大学医学部大学院卒
東京女子医科大学顧問
東京大学名誉教授

※日本にガンマナイフを最初に導入した先生です。

■ 専門分野：循環器内科
■ 資格：日本心血管インターベンション治療学会
名誉専門医・認定医

院長 杉浦誠

■ 卒業大学：S50年 大阪医科大学卒
■ 専門分野：脳腫瘍・てんかん・頭痛・脳神経外科一般
■ 資格：脳神経外科専門医、脳卒中学会専門医
産業医、ACLSインストラクター

脳神経外科 高橋研二

■ 卒業大学：S50年 東京医科大学卒
■ 専門分野：回復期リハビリテーション病棟専任医師
■ 資格：日本脳神経外科専門医

専門治療のご紹介

脳腫瘍

良性腫瘍・悪性腫瘍の開頭による脳神経外科手術

ガンマナイフによる放射線治療

ガンマナイフについて

脳血管障害

頸動脈内膜剥離術 (CEA)

頸動脈内ステント留置術 (CAS)

浅側頭動脈—中大脳動脈バイパス術 (STA-MCA Bypass)

脳血栓溶解療法 (超急性期)

脳動脈瘤コイル塞栓術

脳内出血に対する開頭血腫除去術

くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術

メルシー・レトリバー

機能的疾患

顔面けいれんや三叉神経痛に対する神経血管減圧術



アンギオ撮影室

■ 脳神経外科



ガンマナイフ部長 中谷幸太郎

- 卒業大学：H6年 札幌医科大学卒
- 専門分野：脳腫瘍・ガンマナイフ・脳神経外科一般
- 資格：日本脳神経外科専門医
JBCT日本がん治療認定医機構 がん治療認定医



脳神経外科部長 阿南英典 (大学派遣)

- 卒業大学：H19年 長崎大学卒
- 専門分野：脳血管障害・脳腫瘍・頭蓋底手術・
脳神経外科一般
- 資格：日本脳神経外科専門医



脳神経外科医員 池田茂

- 卒業大学：H23年 日本大学卒
- 専門分野：脳神経外科一般



2000症例以上の
治療実績



<当科の特徴>

- 脊椎脊髄疾患
変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、側彎症、後縦靱帯骨化症、脊椎分離過剰症等
- 関節疾患
変形性関節症、前股関節症、大腿骨頭壊死、慢性関節リウマチ、足の外科、各種人工関節置換等
- 外傷
骨折、脱臼、靱帯損傷、変形治癒の矯正、偽関節、骨髄炎、手の外科、スポーツ外傷等
- 小児整形外科：斜頸、先天性内反症、先天性股関節脱臼等



副院長 金井洋

- 卒業大学：S63年 東京医科大学卒
- 専門分野：脊髄・関節
- 資格：整形外科専門医



整形外科医員 草野俊樹

- 卒業大学：H20年 東京医科大学卒
- 専門分野：整形外科一般

年間手術件数

108件

※2015年実績



施設雰囲気について



毎年恒例 富士登山



救急医療勉強会

各種クラブ活動の充実

野球部・マリンスポーツクラブ・フットサルクラブ等、趣味を通じて、部署間の垣根を超えた交流を深めております。



患者様・地域に向けた院内活動

キャンドルサービス等の催しや公開講座の実施しております。



充実の子育て支援

院内に24時間保育室「ひよこ保育室」
お子様がいらっしゃる方も、安心して
就業することができます



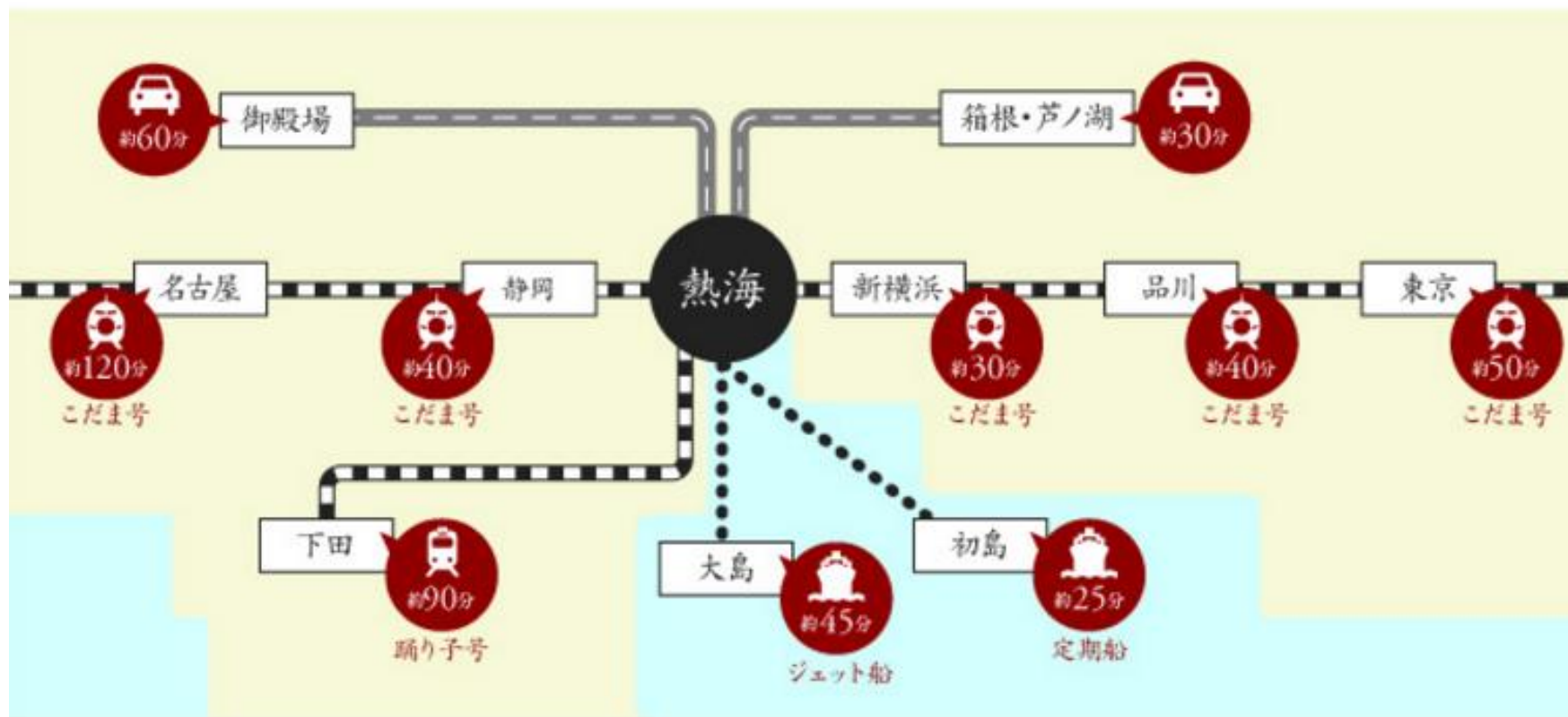
■ 近隣病院について

熱海市内の医療機関は、人口当たりの病院数が静岡県内でも上位を占めており、充実しています。救急医療についても、市内の医療機関内で交代制で受け入れ態勢を整えています。更に静岡県は救命救急医療の切り札、ドクターヘリをいち早く導入し、全国唯一ドクターヘリを2機運航する先進県です。当2病院も近隣病院と連携を取りながら、地域完結型の医療提供体制の充実に貢献することを目指しております。



■ 熱海へのアクセス

熱海と聞くと、「通う」イメージがない人も多いと思いますが、
実は新幹線で品川まで39分、東京駅までは47分という近さ。
この新幹線の移動時間で、ONとOFFを切り替えられると移住者の多くは語ってくれます。
東京だけでなく、箱根に御殿場にと、1時間以内で行けるとするのも熱海の魅力の一つです。



■ 名称
医療法人伊豆七海会 熱海所記念病院

■ 開設年月日
昭和59年2月

■ 院長
杉浦 誠

■ 所在地
〒413-0022 静岡県熱海市昭和町20-20

■ 標榜科目

内科（一般内科、呼吸、血液、内分泌、代謝、神経疾患、糖尿病、神経内科）循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科

■ 病床数
144床（一般96床、回復期リハ48床）



■ 名称
医療法人伊豆七海会 熱海海の見える病院

■ 開設年月日
平成28年4月

■ 院長
鈴木 和浩

■ 所在地
〒413-0033 静岡県熱海市熱海字上ノ山1843-1

■ 標榜科目

内科、腫瘍内科、腎臓内科、人工透析内科、リハビリテーション科

■ 病床数
112床（一般40床、療養72床）



2病院間で
連携をとりあい
熱海の医療を
支えています！